

港合同

昌一金属支部第56回定期大会 強力に闘争を展開しよう

昌一金属支部は、八月二十八日(金)十三時三十分より第五六回定期大会を開催しました。

今大会は、久方ぶりに役員選挙が書記長対立選挙になるなど、単にこれまでの延長ではない、今日の時代を反映して大変意義のある大会となりました。

大会は、Y副委員長の開会あいさつの後、入村・毛利両議長を選出して進めました。

冒頭、N委員長の挨拶では、安倍政権が進める

全国金属機械労働組合 港合同
大阪市港区南市岡3・6・26
TEL 06・6583・4858
FAX 06・6583・4600



挨拶するN委員長

安保関連法案の動きに触れ、これを早期に成立させようとしているが、闘いの輪は広がっている。今大会を成功させ支部の三大方針を軸に労働組合の闘いを進めようと述べました。

今大会ではご来賓として八名の方々からご祝辞をいただきました。紙面の関係で数人の方にしぼって紹介します。

港地区平和人権連帯会議の中村議長から、日本の国が大きく変わろうとしていると述べた上で、昌一はいつもストライキをやっていた。経営はいつも足元をすくおうと思っている。支部の若い人たちが積極的に前に出て活動をしてほしい、と挨拶。

全日建連帯労組近畿地本の川西執行委員から、戦争法案反対で九月に各職場でのストライキを予定していると報告され、

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



ご出席いただいたご来賓の皆さん

関生支部が数多くの闘いの中で仲間が二人殺害されても、一〇〇名以上の逮捕者が出て、断固とした闘いを継続して勝利してきたとして、敵の攻撃は仲間の団結促進の条件を与えており、この条件を活かしければ、そこに勝利の法則があると教訓を語っていただきました。

田中機械支部のT委員長から、この間の安保法制をめぐる闘いから、憲法は国民をしるるものではなく権力をしるるものであり、特に二八条の団結権に触れ、不断の努力が必要であり、何もせず受け入れているだけではだめで、労働者が自分たちの力で守らせていく必要がある。昌一の大会が平日の昼間に行われていることも、経営としては与える必要のないものであり、これも労使の力関係を示すものだとして強調していただきました。

大熊鉄工支部のH委員長から、福島第一原発事故から電力自由化という

流れの中で十六年完全自由化、二〇年発送電分離と大きな転換点を迎え、経営はその厳しさを非正規化に求めようとする。港合同は暴力団や国家暴力と体をはって闘ってきたが、それは労働者が一歩引いたらどこまでも後退を迫られる彼我の関係。昌一の様々な権利は先輩の不断の努力と今日の努力によって確保されている。昌一における主義主張の問題も団結の前進としてどう闘っていくのかと議論していくことが重要だ、と訴えられました。

この他に、労金大正支店の宮内支店長、朝鮮聴連西大阪支部の沈基鳳委

委員長、南労会支部のI副委員長、港合同事務局からN事務局次長にご挨拶いただきました。

議案に入り、「年間総括」では、支部の一年間の活動が、どういう意味をもっていったか、何を切り拓いてきたかを積極的に総括し、「地域闘争」では、地域におけるいずれの闘いも支部の闘いや課題に引き付けて、まさに自らの課題として考えなければならぬ多くの教訓に満ちています。

年四大闘争では、秋冬闘争・春夏闘争の「総括と今後の課題」として何を切り拓き何を課題とし



確認してきたのかを再確認しました。

そして今期の「活動方針」では、まず情勢として資本主義の終焉・大恐慌が日々深化する中で、戦争・改憲と外注化・非正規化の攻撃を組み合わせ・団結破壊を通して強行しようとしていること。しかし、八七年国鉄分割民営化攻撃に対して、

国鉄一〇四七名解雇撤回闘争が三〇年にわたって闘い抜かれてきた地平を土台として、国会前をはじめ十万、百万の労働者・市民の闘いが、すでに安倍政権を追い詰めていきます。

そしてこの攻防そのものが、実は私たちの職場の攻防とまったく同じものであること、外注化・非正規職化を団結破壊・組合の弱体化を通して実現せんとする資本・経営との攻防としてはじまったことを鮮明に打ち出したことが特徴です。

確立した方針を具体的に実践していかなければなりません。



ご来賓の皆さん、そして祝電を寄せていただいた全国の闘う仲間の皆さんに、改めて感謝を申し上げます。

今大会では、対立選挙となったため、組合員が自らの一票行動＝選択をもって今期の執行部を選出しました。自信をもって闘いを前進させたいと思います。

支部をめぐっては、電

力大再編情勢の中で、資本・経営との攻防も外注化・非正規職化攻撃として、これまでの延長線上ではいけないと思います。

多くの先輩労働者たちが闘って闘い抜いて今日の支部の土台をつくってこられたように、今度は私たちが闘って闘い抜いて、闘う組織と運動を守っていきたいと思います。

昌一金属支部執行委員会

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！